

令和7年1月20日

保護者各位

学校評価(後期)に寄せられた意見について

富士川第一小学校
校長 山本 和洋

寒さが一段と厳しさを増しており、日差しのありがたさを感じる日々です。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12月にお願した「学校評価アンケート」の結果を系統的に分析し、全校に関わるものや、多く寄せられた事項について教職員で話し合い、これまでの教育活動をふり返りました。来年度の学校運営に生かしていきます。

1 重点目標・学習について ※()内は、前期との比較

- 令和6年度の重点目標「えがおでチャレンジ!」について、児童の89.5%(93.7%, ↓4.2p)が頑張ったと回答しました。保護者からは、86.4%(88.5%, ↓2.1p)が「とてもそう思う・そう思う」と回答しました。

◇ 重点目標について、前期と比較すると後期は低い評価となりました。9割が重点目標「えがおでチャレンジ!」を達成できたと考えられるとともに、約1割の児童は達成できなかったと、自ら厳しい評価をしたこととなります。覚えやすいこと、様々な場面で意識できることから、3年間継続して掲げてきた重点目標ですが、新たな目標を掲げる時期に来ていると考えられます。今後も、児童自ら挑戦できるよう支援していくと共に、新たな目標に向かっていけるよう支援してまいります。

- 「授業でICTを活用している」

児童 90.1%(88.9%, ↑1.2p)、保護者 89.8%(79.7%, ↑10.1p)

- 「先生は、授業が分かりやすいよう工夫している」

児童 95.8%(94.5%, ↑1.3p)、保護者 96.6%(95.5%, ↑1.1p)

◇ 前期に比べて、軒並み厳しい評価となった後期ですが、これらの項目については、わずかではありましたが評価が上がっています。授業でICTを活用することは当たり前となり、教師にとっては教具の一つとして、児童にとっては文具の一つとして定着しています。しかし、学習においては、デジタル機器が得意とすることと、アナログな手法が効くことがあるので、それぞれ効果的な教具、文具を選択することも大切です。

2 富士川一小がもっと良い学校になるために

〔児童〕

児童からは、休み時間やPCの授業の増加、校舎やトイレの清掃、挨拶の促進、異学年交流の増加、ICTの活用などが提案されています。また、授業や校則に関する意見、先生方への要望、いじめ防止のためのアンケートの増加なども含まれています。全体として、他人事なアイデアが多い中、より良い学校環境を目指すための具体的なアイデアや改善点が挙げられています。

また、「既に良い学校だから、特別変える必要はない。」という意見も複数ありました。

〔保護者〕

保護者の皆様からは、トイレの清潔さについてのご意見や運動会の協議内容についての提案、教員の指導に対する声が多く見られます。また、タブレット使用上の約束や、登下校時の安全確保、感染症情報の提供についての要望もあります。全体として、学校生活の改善点や感謝の気持ちが多く含まれています。



思いやる気持ちや諦めないで挑戦する気持ちをつなげる子を目指して、今後も職員一同努めてまいります。

☆ 詳しいアンケート結果は、学校ホームページからご確認いただけます。

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/rn2ola000004nkmy.html>